

# ジャーナリズムの

# 突破力

“戦争する国づくり”に抗する  
あまたの市民と運動の底力  
そして、まともなジャーナリズムの突破力！  
真実を求め、伝えることが  
今ほど大切な時はない

11月1日(金)18:00~20:00

広島県民文化センター・ホール  
安田純平(フリージャーナリスト)

## 憲法のつどい・ひろしま 2019

日時：2019年11月1日(金)18:00~20:00

場所：広島県民文化センター・ホール  
広島市中区大手町1丁目5-3

参加費：500円/学生・障がい者は無料

主催：戦争させない・9条壊すな！  
ヒロシマ総がかり行動実行委員会

- 手話通訳あります
  - 保育・託児を希望される方は事前に申し込みください  
※申し込み期限 10月25日(金)
- 【連絡・問い合わせ先】090-9060-1809(藤元)  
fujigen\_1002@yahoo.co.jp

### 「戦争させない・9条壊すな！ヒロシマ総がかり行動実行委員会」

主な構成団体：戦争をさせないヒロシマ1000人委員会/広島県9条の会ネットワーク  
/秘密法廃止広島ネットワーク/憲法と平和を守る広島共同センター

730-0805 広島市中区十日市町1-5-5坪池ビル2F 日本ジャーナリスト会議広島支部/090-4740-4608(久野)



■自由を求めた人々を弾圧したシリア政府による無差別攻撃の実態を、自ら撮影した動画や画像を使って解説しつつ、「不要」と言われるようになった紛争地取材が、むしろ重要になっている理由と、今後の課題を説きます。

■また、40カ月にわたった人質事件をもとに、実効性のある行動を避けた日本政府の対応や、デマを拡散させたメディアとネットの現状を検証し、閉塞感に包まれた現代日本社会の「自由と責任」について考えます。

#### 安田純平(やすだ・じゅんぺい)ジャーナリスト。

1974年、埼玉県生まれ。一橋大学社会学部卒業後、信濃毎日新聞に入社。03年に退社し、中東や東南アジア、東日本震災などの取材を行う。04年、イラクのファルージャ周辺を取材中、武装勢力に拘束されるが3日後に解放。07年にはイラク軍関連施設で料理人として働きながら取材、「ルポ 戦場出稼ぎ労働者」(集英社新書)を記す。15年6月、シリア取材のためトルコ南部から入ったところで武装勢力に拘束され、18年10月、3年4カ月ぶりに解放された。近著は「自己検証・危険地報道」(集英社新書・共著)